

質疑応答集

	質問	回答
1	市町村の保健師の特徴について伺いたいです。	<ul style="list-style-type: none"> ・病気の予防や重症化の予防、障がい児・者の生活環境の相談対応など、関係機関と連携しながら地域住民全体の健康増進や市民一人一人の健康に関する相談業務等を行い、乳幼児から高齢者までの幅広い年代の健康づくりをサポートといった特徴があります。
2	現在働かれている自治体を選んだ理由を教えてください。	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師養成所のある県内での就職を希望し、募集があったからです。 ・子育てしながら働けるように、職住近接を条件に選びました。
3	保健師になって良かったことはどのようなことですか。 また、どのような時にやりがいを感じますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な人に係る中で、全てが自分自身の成長につながることは、一番の魅力ではないでしょうか。保健師仲間とケース対応等共有して、スキルアップができます。保健師の仲間と共に業務に携わり、困難を乗り越えた時やりがいを感じます。 ・自分自身の健康づくりを意識しながら市民サービスを考えられることや、市民と一緒に考える機会を持ちながら地域に根付いた取り組みが出来たときなどにやりがいを感じます。
4	保健師になって大変だったことはどのようなことですか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ケースワーク中に、自分のペースで進めることが難しい場合があります。市民と一緒に進めることが大切なので、「待つ」ことも必要な時があり、大変さを感じます。
5	健診などがない日はどのような仕事をしていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・電話・窓口で市民の相談や問合せに対応するほか、継続支援の必要な方への電話掛けや事務作業をしていることが多いです。 ・健診や教室、訪問の準備や後処理（非常勤職員や協力医との調整、必要物品の購入手続、文書や張り紙・マニュアルの作成、実施結果の入力、フォローが必要な方の抽出等） ・予防接種や健診等の仕事をお願いしている医療機関との調整やお金の支払のための事務処理 ・事業の進め方やフォローが必要な方への対応方法を検討・検討

	質問	回答
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 庁内や関係機関との会議・打合せへの出席 ・ 業務に必要な物を買う予算を獲得するための事務手続き 市・課として必要な作業（書類の管理、調査回答、市のイベントへの協力等）
6	<p>保健師のキャリアアップについてどのように考えていますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 座間市保健師活動指針、自治体保健師の標準的なキャリアラダー、地域保健従事者に求められる能力3種類、「私の仕事ノート」「保健師の求められる能力シート」など指標は多く負担ですが、一方でキャリアアップの見える化が充実していると考えます。 ・ 行政保健師は、その専門性のほかに行政職としてのキャリアアップも求められます。健康づくりは地域づくりのツールと捉えているので、保健師のキャリアアップは市政の在り方を考えたときに必要な専門職と考えています。
7	<p>臨床経験を経て就業された方の入職時のことをお聞きたいです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 助産師で働いていたので、母子関係の事業を中心に担当にして貰えました。自分の得意分野であり、興味があったところなので、働きやすかったです。 ・ 外科病棟での臨床経験が活かされる場面はあまりありませんでした。それでも看護教育の中で得た知識は様々な事業で活かせました。
8	<p>保健師として働く前に看護師の経験は必須ですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必須ではないと思います。臨床経験が役立つことはあった。しかし医療は常に新しくなるので、経験した時期のことは役に立たない場合があると思います。相談に来られた市民に対応する際は、内服薬や治療内容等で知らないことは調べた上で対応できます。また直近経験者に聞いてみるといいと思います。 ・ 必須ではないです。看護教育を受け、公衆衛生看護等の知識が必須となります。

	質問	回答
9	看護師としての臨床経験のある方とない方どちらの方が多いですか。	半々です。
10	なぜ看護職の中で保健師を選んだのですか。	<ul style="list-style-type: none"> ・せっかく資格をとったので、保健師の仕事に就こうと思いました。 ・対人支援が好きだったからです。保助看法に「保健指導」とありますが、市民に対し、指導できるほど年齢や経験を重ねているわけではないので、相談者の様々な困りごとについて、市民の描く将来像を共に考えながらの関係づくりは楽しいです。
11	業務で何か困難な事例があった際に、どのように対処されていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・職場の保健師や上長に相談し、一緒に考えてもらうようにしています。場合によっては他課の職員と連携し、解決に向けて支援するようにしています。 ・まずは、同僚保健師や上司に報告・相談します。自分自身も、困難な事例の当事者の思いに寄り添いながら、いろいろなパターンのシミュレーションをイメージし、共に考え答えを探し出す姿勢を心がけるようにしています。
12	地域の方にアドバイスをすることも多いかと思いますが、中々聞いてくださらない方にはどう接していますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・まず相手の言い分を聞き、足を運び、顔の見える関係性を作って、行政としてできることを一緒に考えていきます。 ・地域の方が本当に伝えたいことは何かを傾聴しながらアドバイスを考えます。場合によっては地域の方自信が答えを見つけ出し、アドバイスをしないこともあります。
13	就職する前と後のギャップはありましたか？	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師の専攻科を卒業したので、保健師業務のギャップはあまりありませんでした。行政職一般の対応が必要な点に苦心（事務文書の作成や契約事務等、一定のスキルが必要）しましたが、これはどこの自治体で就職しても求められることと思います。 ・母子保健業務の占める割合が多かったことです。事業を運営することが多く、地区踏査、地区診断がなかなかできないことです。

	質問	回答
14	入職にあたり、車を運転できた方が望ましいでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・公用の電動自転車を使うことはできますが、乳児用の大きな体重計を持参しての訪問があるため、車の運転はできたほうが良いです。勤務地から徒歩10分程度の場所に自動車教習所があり、終業後に通っている職員もいます。この教習所はペーパー教習もやっています。 ・市内だけではなく、必要時には市外の委託事業所と対面で打ち合わせをしたり、保健福祉事務所へ出向いたりすることが多いので、運転できた方が仕事は捗ります。
15	男性保健師は活躍の場がありますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・男性からの健康相談や育児中の父親に向けた支援等、活躍の場はあります。 ・性別を意識して特別に活躍できる場があると感じたことはありません。男性でも女性でも保健師が活躍できる場はいたるところにあると考えています。
16	就職活動で主に何をしましたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・働きながらだったので、隙間時間に公務員試験の基礎部分を勉強しました。専門的な部分については、何もしませんでした。 ・市のホームページを閲覧しました。
17	保健師の仕事において重要な能力、必要な資質は何ですか。	<ul style="list-style-type: none"> ・自身の行動で集めた主体的収集、アセスメント、ケースに配慮した対応と関係機関と協力しようとするスピリットです。 ・前に踏み出し、考え抜いて、チームで働く力が重要と考えています。自己研鑽を積み重ねながら、豊かな発想力、想像力を育める資質が必要と思います。
18	保健師を目指すうえで、学生のうちにやっておいた方が良いことがあれば教えてください。	<ul style="list-style-type: none"> ・就職してから相談に乗ってくれる学生仲間との関係性を築くことだと思います。臨床情報も共有できます。 ・国からの通知文書等を読む時に少し役に立つので、新聞の記事を読むでおくことをお勧めします。

	質問	回答
		<ul style="list-style-type: none"> ・関心がある様々な分野について、本や論文などをたくさん読んでおく と良いと思います。
19	<p>行政保健師の経験年数に応じた仕事内容の変化を教えてください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・10年目までは各種事業の担当をできるだけ多く経験し、事業の法的根拠を理解し、その目的や現場の動きを把握します。 ・10～20年目までには、個々の事業について俯瞰して捉えられるよう総括的役割を経験し、市の総合計画を意識して施策の方針を考えていきます。 ・20年以上になると、関係機関や他部署との連携等を視野に入れた健康づくり施策における保健師の役割を意識し、施策の提言などを行えるようになり、保健師の育成や確保についても主体的に活動できます。
20	<p>就職後の新人教育について教えてください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・係長や統括保健師、プリセプター（直接指導者）や代行指導者（同僚保健師、事務職）からオリエンテーションとして各業務の説明を受け、事業の見学をしてもらいます。市民との面接場面については、場合によってはロールプレイを行ったり、プリセプターや同僚保健師が同行、同席してもらったりしながら実施します。 ・標準的なキャリアパスに基づき、新任期はプリセプターによるOJTを実施します。新任期以降もジョブローテーションやOff-JT等を実施し、行政保健師としての知識やスキル等を身につけていきます。
21	<p>働く環境について教えてください。 (育児、介護との両立など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・就学前や学童期の子どもを育てながら働く方は多く、育児時間や看護休暇などを利用しながら働くことができます。担当する事業や地区割については、統括保健師に相談しながら対応しています。 ・妊娠・出産・育児のための休暇制度や介護休暇があります。ライフステージの変化に応じ、これらの制度を使いながら仕事と両立を図ることができます。

	質問	回答
22	研修制度について詳しくお聞きしたいです。	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師の研修は、県（経験年数に応じた研修）や民間機関が行う研修に参加します。また座間市職員として、職務に応じた研修体系があり、職員自らが主体的に能力開発に取り組めるよう支援しています。 ・専門職としての研修はキャリアラダーに基づいて実施される神奈川県や厚木保健福祉事務所が主催の研修に参加するほか、市保健師業務連絡会で企画する研修会が臨時で開催されます。
23	服装やネイルなど、身だしなみの決まりについてお聞きしたいです。	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児から高齢者までの幅広い年代層への相談支援を行うことから市の接遇マニュアルを主に、公務員としての身だしなみを整えていただいています。
24	保健師として就職する場合、自動車の免許は必須でしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の場合、ケースワークや会議など市役所外で行うことが多いため、必須と捉えていただくと良いと思います。
25	県外出身者でも、採用の可能性はありますか？	<ul style="list-style-type: none"> ・居住地で採用の有利不利はありません。県外出身の先輩もたくさんいます。
26	自動車免許の有無で採用は変わりますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車免許の有無で採用の有利不利はありません。
27	新卒で保健師になる人はいますか？	<ul style="list-style-type: none"> ・います。現在複数人活躍しています。
28	現在働いている既卒の方で、前の職場で働きながら、公務員試験（特に筆記試験対策）はどのようにされてきましたか？	<ul style="list-style-type: none"> ・問題集を購入しコツコツと解いていました。働きながらの勉強は大変な時もあるかと思います。体調を崩さないよう、上手くスケジューリングし進めていくと良いと思います。 <p>なお、座間市は現在「人物重視」の採用試験を行っており、筆記試験も法律系科目や経済系科目は行っていません。</p>